

# 田沢地域運営体「荷葉」 認定書交付式

田沢地域運営体「荷葉」の組織届出書が4月1日付で提出されました。これを受けて4月14日、浦山会長、千葉副会長、酒出副会長、浦山事務局長出席のもと認定書交付式が行われました。門脇市長から浦山会長へ認定書が手渡され、市長から「認定第1号のパイオニアですので、地域の力を更に発揮して、地域の夢を実現してください」とあいさつがありました。浦山会長からは「人材を育成し、生産の基礎である土づくりをし、地域がより一つにまとまって頑張りたい」と抱負を述べられました。田沢地域運営体ではこれから特色ある地域づくりがスタートします。

今年度、市では各地域に地域運営体を立ち上げる準備を進めます。随時説明に伺いますので、地域で話し合いをする場合はお知らせください。

連絡先：仙北市政策推進課 TEL (43) 1241



## むらの喫茶店「たざわ」オープン

7月6日、田沢地区の旧田沢コミュニティーホーム内にむらの喫茶店「たざわ」がオープンしました。「地域の皆さんが集まれる場所を」と、田沢地域運営体「荷葉」が約1ヵ月をかけ同ホーム内の図書室を客室に改装、調理室も整え、この日を迎えました。

オープンに先立ち浦山会長が「取り組んで1ヵ月、地域の皆さんと行政が力を合わせて実現できた。地域に新しい風を吹き込むことができれば」と挨拶。続いて石山副市長が「認定第一号の地域運営体の第1号の事業。地域の皆さんが考え、動いた事業。皆さんの取り組みに大いに期待します」と挨拶しました。テープカット後、集まった多くの方たちがさっそく店内に入り、オープンを祝う賑やかな声が響いていました。

営業は、当面の間火曜日の10時から14時頃までとし、メニューはコーヒー、紅茶などを150円～350円で提供。今後、利用状況を見ながら営業日、時間を検討していくことにしています。





# 行商の店が集まってきた

常連さんは週に一度ここで顔を合わせるのが楽しみといます。メニューも増えて、天ぷらうどん、牛丼などの食事も充実。コーヒーに付いているケーキは生保内のまさき菓子屋さんからサービス品。市民のあたたかさを感じます。

また、洋服や、パン、ヤクルトさんに、牛乳や、農家の産直レタス販売など行商の店も集まって、火曜日は、田沢ににぎわいが戻ってきました。

むらの喫茶店「たざわ」  
営業日：火曜  
営業時間：午前10時～午後2時30分  
電話：0187-42-2511



# 火曜日だけの喫茶店がオープン！

地域運営体の初仕事は、昨年7月6日にオープンした「農村喫茶」。田沢診療所の週に1度の診察日、火曜日に合わせて営業しています。

旧コミュニティホームの図書室を改造、住民で掃除をし、自宅からコーヒーメーカーや食器類を持ち寄った手づくり感いっぱい「たまり場」です。当初はコーヒーだけの営業でしたが、食事の要望も多く翌週からはうどん・そばの軽食も始めました。



## こんな取組も

### 茶立ての清水 辺りを もっと工夫したいな

名水「茶立ての清水」は、観光シーズンともなれば、水を汲む人が列をつくるほどの人気スポットです。

この周りにチューリップを植えたり、農産物の販売を強化するなど、訪れる人をもっと楽しませる事業を広げていきます。



### 地域の伝説にも光を当てよう

「おばこ石」「寝仏さん」「お諸仏さん」「亀石」と、逸話をもっていたり、信仰の対象にある石が多いのも田沢の特徴。今年度事業に「パワースポット発掘・整備事業」も企画しています。

## きのこ栽培にも力を入れよう

「平成の合併のころ、田沢は市の端にあるから、切り捨てられそうだった。NPOから始めて地域運営体をつくって、今は毎日忙しく楽しいです。今年はこのことをもっとやるぞ」と会長の浦山久二さん。農業所得をもっと上げようと「地場農産物の生産、販売対策事業」に取り組みます。

住民みんなで考えた今年度の事業が、本格的な春の訪れとともに始動しました。

